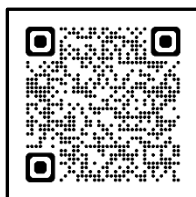


学習テーマのご紹介

・次の1～7から選択してください。 基本は、1回完結型です。

学習テーマ	基本の内容
1 人権とは？ －人権や関連概念の整理－	○人権啓発や教育の大前提、「人権」の基本的な考え方を解説します。 (内容案) ・人権とはなにか ・なぜ人間には人権があるか ・人権の具体的中身 ・権利と義務の関係 ・人権啓発で気をつけていること ○解説後、参加者と内容についての質問や意見交換を予定。
2 マジョリティ特権とマイクロアグレッション	○人権問題の解決のカギを握るのは、この社会で「マジョリティ（多数派）」性を多く持つ人々の態度や行動です。このことを論理的に説明するにあたって助けとなるのが、近年、人権啓発の分野で注目を集める「マジョリティ特権」、つまり「特権」理論です。 ○そして、社会的マジョリティとマイノリティの間にある不均衡な力関係によって起こりえる言動の一つが、主にマジョリティ側が、自覚なく日常的に行う差別「マイクロアグレッション」です。 ○当センター研究員は、これら2つの概念を関連付けながら、人権問題の解決に向けて必要な視点などを解説します。 その後、実際の啓発の場面で取り上げる際のポイントを、経験談を交えながら参加者と共有します。
3 部落問題学習「innovation（イノベーション）」の活用について *このテーマは、原則、上記2を受講した参加者を対象とします。	○当センターの人権学習教材の中で反響が大きく、研修や授業などで活用したいとの声が多い、部落問題学習教材「イノベーション*」の活用方法について提案する内容。 ○教材の中にある活動を体験するなどして、教材理解を深めていきながら、地域や学校等での活用方法や活用時の留意点について共有していきます。 *「イノベーション」は、社会的マジョリティが部落問題に対して抱く意識や態度に焦点を当て、その問題点を理解し、行動変容を促すことを目指した学習教材です。



↑「イノベーション」の
紹介記事

4 啓発動画の研修等への活用について  ↑動画はこちらから (当センターYouTube チャンネル)	○当センターが制作した啓発動画のうち、地域や学校、職場等の研修用動画として活用できそうな動画について、その活用方法を提案します。 ○その後、各研修の目的や対象等に応じた具体的な活用方法について、参加者とともに探っていきます。 【対象の動画（予定）】 ①「バイアス、ミナオス」【8分58秒】 ②大人のための10の心得～子どもの思いを引き出し受けとめるために～【3分37秒】 ③HOPE!（ほーぷ）ー地域でともに進める合理的配慮ー【12分39秒】
5 対話型人権学習 「ふらっとカフェ」のススメ  ↑ふらっとカフェの 紹介記事	○ふらっとカフェとは、1つのテーマについて少人数で対話しながら人権への理解を深めていく、当センターが開発した対話型人権学習の手法です。 ○ここでは、ふらっとカフェの内容や特徴、学習の流れ、進行のポイントを解説するとともに、そもそも人権学習をふらっとカフェの手法で行う意義についても共有していきます。 ○「ふらっとカフェ」についての理解を深めながら、それぞれが担う人権啓発・教育にどのように取り入れることができるか、その可能性を探っていきます。 ○実際に、ふらっとカフェを体験することもできます。
6 「講師力」について考える	○人権研修や人権学習で講師を行う人自身の「講師力（啓発力）」について考える内容です。 ○当センターが、これまでの人権研修等での講師経験などを踏まえて考えた、「講師の評価軸」を紹介します。 ○参加者が自らの講師経験を振り返り、自らの講師としての持ち味や課題に気づくきっかけになります。 ○当センター研究員がその場で行う「ミニ人権講演」を、参加者が「講師の評価軸」を用いて分析・評価するなど、体験的な活動もできます。
7 啓発力としての「デザイン」 ー啓発関係資料を例にー	○人権啓発における「伝える力」を、デザインの視点から考える内容です。 ○研修で用いるパワーポイント資料と情報誌のうち、いずれかを選択していただきます。 ○選択された資料の現物を基に、啓発で大切にしているデザイン上の工夫を解説します。 ○参加者のパソコン（タブレット）が用意できる場所では、実際に操作してもらうことで、理解が深まり、身につきやすくなります。 ○参加者それぞれが行っている、デザインの工夫も共有できれば嬉しいです。